

ひと
十字路

昨年五月、土浦市川口のショッピングモール・505にオープンした「SOHOつちうら」に「つちうらネットプレス」を設立。土浦総合案内サイト立ち上げ、市内のイベントや観光スポットなどを取材し写真や動画で紹介する仕事を請け負っている。

当然のようにパソコンの画面を見ながらのインタビュー。マウスを動かす手はスピーディーで目は輝いている。一年前までは常総学院高校で教壇に立ち国語と古典を教えていたというのがうそのようだった。「回り道をしてようやく自分のやりたい仕事が出来

るようになったというのが実感です」。というのは、もともとプログラマーとして仕事をしてきた時期もありパソコンには興味があった。

「教師を続けていれば収入は安定し身分は保証されていたましたが、子育ても終わり今のチャンス逃したら一生の後悔と、思い切った決断でした。もちろん家族の理解があつてのことです。感謝しています」

スタート時は一人だったが、現在では学生と主婦のアルバイト四人を雇うまで

やるほど見返りのある喜び



土浦総合案内サイトを立ち上げた

たかはし かずみ
高橋 仁美さん

今年の九月を予定している。

「今は、日曜日もありません。店舗を持たないで自分のお店を持てる魅力を多くのの人に知ってもらうために、体力にものをいわせて走り回っています」

土浦総合案内サイトはスピーディーをモットーにしている。土浦市内で六月十日の時の記念日で復活された「刻の太鼓」も、取材を終えると動画ですぐに流した。また、個人商店のホームページ作成も行い、情報の更新が手軽に出来るユーザーからの評判がいい。

「やればやるほど見返りがあるのは、教員時代に体験できなかった新たな喜びの発見。時々刻々のニュースを更新する楽しみは性分に合っています」

に成長。「まだ、私の給料にまでは手が回りませんが、これから勝負です」と屈託なく笑う。

その第一歩として、ネットビジネスを展開し、売り上げ増を図る。現在はその情報収集を積極的に行っている。SARS(新型肺炎)騒動で渡航禁止になっていた台湾には、指定解除されるとすぐに出かけ商品

開発と仕入れルートを確保してきた。その行動力には自信がある。「何しろ常総学院高校で山岳部の顧問をやっていたので二十キの荷物を背負

い、いろんな山に登りましたから」。台湾のほかにニュージーランド、香港、カナダなどの友人たちの協力を仰ぎ、商品を増やしていく。本格的に開始するのは

(企画室・御供文範)